

# 国宝勝興寺で大伴家持の歌世界を感じる

## 万葉衣装で国宝勝興寺—万葉衣装行列— 万葉衣装での万葉集の朗唱とモデル撮影会

国宝勝興寺は、『万葉集』の歌人で最終編者と目される大伴家持が、奈良時代に国守として5年間務めた越中国庁があった場所とされています。令和4年に勝興寺が国宝に指定されたことを記念して、古代衣装研究家の山口千代子氏制作の万葉衣装による越中国庁へへの出勤を模した万葉衣装行列を開催します。

高岡万葉大使や藤原茂樹 高岡市万葉歴史館館長らが、大伴家持・大伴旅人・家持の妻の坂上大嬢など家持ゆかりの万葉歌人姿で登場します。どなたでもご覧いただけますので、どうぞお越しください。(一般参加者の募集は終了しました。)

●日時 令和5年11月23日(木・祝) 12時45分～14時頃

●行列ルート ※雨天の場合は、勝興寺本堂・本坊での開催。伏木駅前からの万葉衣装行列はありません。

12時45分 伏木駅前 出発

13時頃 高岡市伏木気象資料館(越中国守館跡) 到着 高岡市万葉歴史館研究員の解説

13時25分頃 勝興寺 到着 万葉歌の朗唱、研究員の解説

※勝興寺内の万葉衣装行列をご覧になる場合は、勝興寺文化財協力金が必要となります。  
各自でお支払いください。

13時45分頃 境内で撮影会

※万葉衣装を着たモデルの写真撮影や、モデルとの記念撮影ができます。  
※一般参加者も含まれるため、撮影の際はお声かけください。  
※撮影された画像や動画の商用利用はできません。

14時頃 終了



問い合わせ

高岡市万葉歴史館 〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮 1-11-11  
電話 0766-44-5511 FAX 0766-44-7335 <https://www.manreki.com>